

## 授業に関するアンケート（2018年度春学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね4ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
食物栄養科学科

### (1) 授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義も実験実習科目ともに概ねシラバスにあっていたと評価されていた。</li> <li>・「わからない」との回答もみられたことから、一部の学生はシラバスへの意識が低いように感じられた。</li> </ul>
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験実習科目では巡回指導などを行うことから例年、評点が高い傾向にあり、今回も同様の傾向を示した。</li> <li>・講義科目では、小テストや復習テスト、マナビーを用いた課題に提示などの工夫により、高評価が得られていた。</li> <li>・一方で学生間の学力（化学）に大きな差があるため、やむを得ない状況もうかがわれた。</li> <li>・実験実習科目ではクラス間で低評価と高評価に分かれるものがあった。</li> </ul>
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ねどの授業でも合っていたという評価であった。</li> <li>・回答にばらつきのある科目もあり、学生の学力差に起因すると思われた。</li> <li>・複数クラス開講の科目では2クラスで、低高評価が分かれた。</li> </ul>
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義科目では評価が低く、実験実習科目では評価が高くなった。</li> <li>・実験実習では少人数で実施することもあり、双方向性が保てるが、講義形式で教えるべきことが多い科目では質疑に多くの時間をとることができず、難しい。</li> <li>・講義の欠点を補う目的で毎回小テストをし、他科目で習ったはずの事柄については質問して答えさせるようにしている。しかし、こちらの質問に積極的に答えてもらえない場合もある。</li> <li>・学生への問いかけや課題へのコメントなど、授業中に学生とのコミュニケーションを取っていたが、今年度は学生の反応が薄かった。その結果がアンケートに反映していた。</li> <li>・グループで相談する時間やグループ発表の機会を取り入れている、あるいはマナビーを利用して質問への回答や課題の配信を行ったことなどが一方向ではないと一定の評価を得られている場合もみられた。</li> </ul>
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験実習科目ではレポートを毎回コメントをつけてフィードバックしている科目が多く、評価が高くなった。</li> <li>・講義科目でも課題にコメントをつけて返却する、あるいは小テストやレポートの採点結果をマナビーにアップしている科目では評点が高くなった。</li> <li>・評点の低かった科目では授業外での受講生へのフォローが不足していたようである。</li> </ul>
6. 言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般に実験実習科目では評点は高いが、講義科目ではやはり低い傾向であった。</li> <li>・授業と実験実習が連動して行われている科目では、受講生の理解を双方で確認し、補完し合っていたようである。</li> <li>・実験実習ではデモンストレーションをしたり、実験中に個別指導をするなどしたため評点が高かった。</li> <li>・実験実習だけでなく大講義でもスライドや配付資料、マナビーなども活用したので、概ね工夫されていたという回答であった。</li> <li>・授業だけでは十分消化できなかった学生へのフォローが必要であると考えられた。</li> </ul>
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験実習科目では、操作の予習を促したり、レポートが課せられたりすることから、自主学習が促されたと考える。</li> <li>・講義科目ではノート作りの課題、小テスト、復習テスト、レポート課題、マナビーでの課題の配信などの工夫が評価されていた。</li> <li>・講義科目では評点分布のバラツキが大きい科目もあり、受講生によって受け止め方が異なっていると考えられた。</li> </ul>

<p>8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容のパワーポイント資料を単に配布するだけでなく、ポイントを板書していたことについて、「パワーポイント資料の充実をして欲しい」との意見が上がっていた。板書することで大事なところがより明確になり、記憶に残るのでこのままの形を続けていきたい。</li> <li>・マナビーを活用して資料や予習の動画を配信しているが、マナビーの使い方を十分に理解していない学生が見受けられた。</li> <li>・管理栄養士専攻の学生からの要望として、講義室が狭いので広い部屋で授業を受けたいというもの複数見られた。次年度以降に教室配当で教務課と交渉していきたい。</li> <li>・小テストが過去問を持っている人と差が出ると書いている学生がいた。小テストは返却しているため、上級生からもらっている学生がいるかもしれないが、こちらとして対応できない。</li> </ul>
---

(2) この授業の学修行動に関する質問結果について

<p>9. この授業の予習、復習、自主学習に1週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習科目では、実習時間外の予習・復習が必須である。そのため、自習時間に1週当たり3時間以上かけた人の割合は高くなった。</li> <li>・実習と少人数の講義はかなり良かったが、大講義は時間数が少なめであった。ただし、学生の声によると、他の科目でも学習時間が多いことから、これ以上負荷をかけることは躊躇する。</li> <li>・レポート課題が重いものは長く、そうでないものは少ない傾向がみられた。</li> <li>・講義科目は今回、マナビーで課題を配信したり、小テストを行ったが例年とあまり変化はなかった。</li> <li>・講義科目は時間が少なかった。小テストや定期試験前だけでなく、日ごろの予復習時間をもっと取るよう促していきたい。</li> </ul>
<p>10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評点は講義科目では低く、実験科目では高い傾向にあった。</li> <li>・今年度は、意見を積極的に述べる学生が限定しており、授業中の雰囲気づくりが難しかった。コメント用紙などを活用してみたい。</li> <li>・少人数の講義では、活発に議論することができたが、大講義では難しかった。また、実習においてもその日の実習目的によって異なるが、グループワークや発表の時間を増やした科目は評点が高くなった。</li> <li>・実験科目では意見を述べてもらう機会も設けることができたが、講義科目では時間がなく、意見を述べてもらう時間を取るの難しかった。講義科目では、授業後に質問に来る学生も残念ながら少なかった。</li> </ul>
<p>11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は国家試験対策に固執しがちで、学修を深める（応用まで学修する）と言うより、国家試験を解けるスキルを望みがちであり、その要素が評価に現れていた。</li> <li>・実験実習や演習など体験学習型の科目は評点が高くなると考えられた。</li> <li>・深めたいという科目とそうでない科目での科目間の差が大きかった。特に、選択科目では高く、必修科目ではやや低くなる傾向にあった。</li> </ul>
<p>12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどが講義・実習とも必須科目のため、「必須」と答える学生が多かった。</li> <li>・「食と健康管理」は、資格必修でありつつ「授業内容」を選択理由にしている比率が多く、「健康」をキーワードにした科目に興味があることがわかった。</li> <li>・「食物学のための数学と物理」「情報処理II」で、「授業内容」と「先輩・友人の勧め」が高く選択された。</li> </ul>

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
<ul style="list-style-type: none"><li>・講義科目ではそれぞれの項目で到達目標を示した場合に評価が高くなっていた。</li><li>・実験実習に関しては、巡回しながら指導といった個人指導ができたことが評価されていたと思われる。</li><li>・食物英書講読のみ「そう思わない」を選択した回答者があった。4年生春学期の必修科目で、その意義が理解しにくいかもしれない。</li><li>・受講生の理解度を確かめながら授業が進められていたかの質問には93%の学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているが、これらの項目は連動しないのか不思議である。</li><li>・複数クラス開講の場合、高評価と低評価に分かれる場合がある。学生一人一人に対してきめ細かなフォローが必要かもしれない。</li></ul>
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"><li>・授業、実験実習ともに、目標を到達できたと答えた学生が70～80%とほぼ到達できていたようである。</li><li>・科目によっては、専攻ごとで達成度が異なっていた。</li><li>・受講生が目標を達成するためには、まず、目標を明確に自覚してもらう必要があることがわかった。</li><li>・到達目標が認識されていないと思われる。</li></ul>
15. DWCLA10の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。
<ul style="list-style-type: none"><li>・講義、実験実習のタイプによって異なるが、こちらが意図した項目を選んでいる傾向があった。</li><li>・教科特性に合った力がついていることを学生は感じてくれているようである。</li><li>・講義科目では思考力、分析力が多く選択されていた。</li><li>・実験実習科目では、コミュニケーション力、リーダーシップ、思いやる力、変化対応力などが高い傾向にあった。主体的に行動したり考えたりするシーンがあったことが考えられる。</li><li>・全体的には、思考力がダントツである。新たな知識・教養を身につけることで、興味ある知らない世界が開かれたようである。実験では、そのほかにプレゼンテーション力、コミュニケーション力の向上が、目立った。講義で培った知識を元に、物事を考え表現できるようになってきたものと考えられる。</li></ul>

(4) その他

<ul style="list-style-type: none"><li>・授業・実習について、学生は資格取得のための対策に走りがちである。学生にはその後（資格を取った後のキャリア形成のための学修）を意識させて、授業や実習の視野を広げ幅のある学修ができるように工夫したい。また、前述の「幅を広げる」授業・実習を学生が「不必要（受験対策に特化して欲しい）」と思わないような雰囲気づくりにも気を配りたい。</li><li>・実験でマナビーに「マッチの擦り方」「ガスバーナーのつけ方」「無菌操作の基本」動画をアップしたことについて、任意で役に立ったかを問うたところ、マナビーを見た学生は5名（31%）で、うち4名はそう思う、ややそう思うと回答した。自由記述には、再確認出来てよかった(2)のほか、見るのを忘れた(3)、再生を押しても見られなかった、スマホの再生がうまくいかなかった、通信制限のため見るができなかった、などの記載があった。システムの問題もあるかもしれない。</li><li>・給食経営管理は講義だけで理解することは難しいので、講義科目で興味を持ち、学内実習や臨地校外実習で、面白さがわかる、というところを目指していきたい。</li><li>・大講義、少人数の講義、実習のタイプによって回答は異なってくるが、概ね学生とコミュニケーションがとれており、不満は少なかったと思われる。</li><li>・学生側のマナビーの使用マニュアルの理解度について、教務課からも指導をお願いしたい。講義においては小テストの点数を掲示して欲しいとの意見もあった。来年度は各自に紙で配るなどの工夫を検討したい。さらに、講義の教材研究をさらに深め、知識を伝える授業から考える力を促す授業にしたいと考えている。</li><li>・4年生前期必修科目については、就活での欠席の取扱いに関する意見が記述欄に挙がっていた。授業アンケートの他の質問項目に対する回答からも落ち着いて学習に向き合えない様子が想像される。講義のあり方など、工夫が必要であると感じている。</li><li>・実習クラスは複数クラスで行っているが、同様の内容で行っているため、クラスの雰囲気によって評価がかなり異なると感じた。</li></ul>
---

・自由記述欄で、「小テストは過去問をやっている人が点数を取るので努力があまり報われない」というコメントがあった。毎年問題を変えているつもりだが、過去のを全部集められてしまうと、小テストは基本的な問題を出題するのでどうしても同じように問題になってしまう。ただ、そもそも小テストは学生に自分の理解度を試してもらうため、また教員が学生の理解度を見るために行っており、最初の授業の時にもそのように説明している。勉強せずに良い点数だけ取ろうと思えば、過去問を集めるのは本末転倒である。そのあたりのところを学生に認識してもらうよう指導していく必要がある。

教育開発支援センター